



2022年公演『浜のゆかいなマシャブシャ』より (Photography by Kiyoshi Kashiwaya)

七ヶ浜国際村パフォーマンスカンパニー ミュージカルグループ **NaNa5931** 公演

ミュージカル 海からのハーモニー

かつて七ヶ浜町にあった吉田浜二月田（にがで）入り江は「風待ち港」と呼ばれていました。舞台は、そこへ出入りする帆船が風と共に交流するダンスで幕を開けます。

七ヶ浜の海は縄文の時代から続く豊かな海、そして「かくれ岩」と呼ばれる多くの岩礁には様々な海の生き物たちが住んでいます。彼らは古くからニンゲンとの関わりあいを持ってきましたが、それぞれの考え方には違いがあります。海の中で領地の取り合いと争いが絶えません。

そんななか、長老アワビーは、年に一度の祭りを強行します。祭りの会場でヒメとカレは出会い、恋に落ちます。しかし、ヒメはキッチー団、カレはブッチー団と呼ばれるそれぞれかくれ岩に住む長年敵同士の家柄。成就是絶望的、しかしそれがゆえに燃える恋……。

一方ニンゲンの村でも、領地争い、勢力争いで頭イテテの難問山積。とあるカマクラ時代、吉田城と花洲城、わずか900mの至近に築城されました。お城と言っても見晴らしの良いところですから、ちゃっこいものです。それらは海城と呼ばれ、浜辺のニンゲン社会においてそれぞれ大事な役割を分担して果たしておりました。

『海からのハーモニー』は、そうした岩礁の生き物たちと海に生きるニンゲンたちとの交流を、愛と調和、共存をテーマに、美しい音楽とダンス、コミカルなキャラクターで織りなし、自然と人々の絆を称える新作ミュージカルです。

ナナゴーキューサンイチ
七ヶ浜国際村パフォーマンスカンパニー
ミュージカルグループ **NaNa5931**

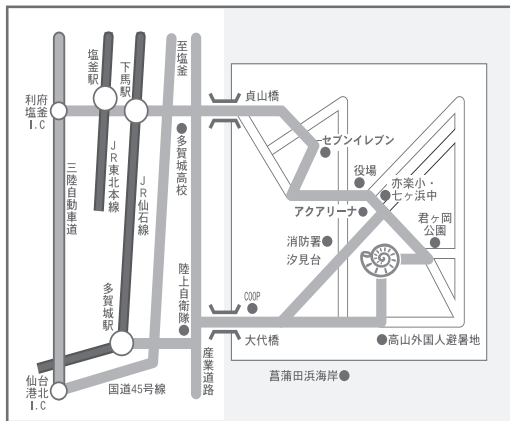
七ヶ浜国際村の劇場付きミュージカルカンパニーとして2001年4月に設立。今年で22年目を迎えた。小学生から社会人までのメンバーで構成された30数名は、毎週木曜日の定期レッスンを中心に活動を行い、ミュージカルを通じた身体表現の研鑽を重ねている。

2002年11月七ヶ浜国際村開館10周年記念事業としての旗揚げ公演『ナナ』を皮切りに、2005年には宮城県民会館での公演『MEGURU』を、2006年には町のキャッチフレーズ『うみ・ひと・まち』三部作の最終作となるミュージカル『KAIRI(海里)』を、2018年11月には七ヶ浜町町制施行60周年・七ヶ浜国際村開館25周年を記念したミュージカル『Re:born』を成功させている。

東日本大震災を題材とした2011年の作品『ゴーへ Go Ahead』は、「震災の風化防止」と「全国からいただいた支援への感謝」という被災地からのメッセージを伝える活動の一環として、2012年8月に名古屋大学「豊田講堂」と東京「日生劇場」で、2019年3月には「鎌倉芸術館」で上演し、成功を収めるなど、ますます活動の範囲を拡げている。

スタッフ

作・演出・振付	梶賀千鶴子
音楽	ヒロセ純
音響	緒方晴英 (coltivare)
照明	小野光司 (FUN LIGHT)
舞台美術	今野芳明 (FACTORY-K)
舞台進行	黒田 浩
衣裳	SCSミュージカル研究所衣裳部
衣裳製作協力	七ヶ浜おはりこーず
館内装飾監修	迫 俊通
写真映像撮影	柏谷 潔 (Focus)
レッスン指導	梶賀千鶴子 SCSミュージカル研究所
	廣瀬 奏 佐藤月乃
歌唱指導	片桐雅子
プロデュース	廣瀬 純



交通のご案内

- 電車・バス
七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」ご利用の方はJR仙石線多賀城駅もしくは下馬駅もしくは本塩釜駅で下車し、もよりのバス停から乗車、七ヶ浜国際村入り口バス停で下車し、徒歩5分。
- 自動車
仙台市中心部から国道45号線または産業道路を利用。陸上自衛隊多賀城駐屯地前の交差点を七ヶ浜方面に右折し、七ヶ浜国際村をめざします。(仙台駅から約45分)
- タクシー
JR多賀城駅より約20分。
- 無料駐車場有り
駐車場180台
※当日は駐車場の混雑が予想されます。ご来場の際は相乗り等のご協力をお願いします。



SHICHIGAHAMA KOKUSAIMURA
〒985-0803 宮城県宮城郡七ヶ浜町花洲浜字大山1-1
TEL.022-357-5931/FAX.022-357-5932
E-mail kokusai@shichigahama.com
URL https://www.shichigahama.com